います。「述語」といる部分があります。そ 文章には、 骨組みにな



ぼくは

思いっきり

なげた。

主語

何を」「 何 が 」 にあたる部分です。

述 語

どうする」 動きを表す言葉

「どんなだ」 様子を表す言葉

「 何 だ」 ものなどを表す言葉

例えば

妹は

かわい

主語

述語

犬が

ぼくの

主語

述語

ほえる

しょう。 次の文から主語と述語をみつけま

主語

述 語

きれいな さくらが さいている。

主語

述語

あれは 姉の 赤い 自転車だ。

主語

述語

にくることが多い 述語は、文の終れ 文の終わり



文の組み立て(主語と述語)

名 前

答え

文章には、骨組みになる部分があります。その骨組みになる部分を



主語

何を」「何が」にあたる部分です。

述 語

. どうする」動きを表す言葉

どんなだ」様子を表す言葉

「何だ」 ものなどを表す言葉

例えば

妹は

かわい。 □ い。

主語

述 語

ぼくの 犬

、□ 犬

ほえる

語

述 語

やってみよう

しょう。 次の文から主語と述語をみつけま

ぼくは 思いっきり なげた。

主語

述語

ぼくは

なげた

きれいな さくらが さいている。

主語

語

述語

さくらが

さいている

あれは 姉の 赤い

自転車だ。

主語

あ

ħ

は

述語

自転車だ

にくることが多いよ 述語は、文の終わり主語は、文のはじめ